

## 単元名 全体の構成を考えながら音楽をつくろう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表現したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けることができる。
- (2) 言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴を理解し、テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。
- (3) 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

10260202\_001

【教材名】擬声語や擬態語を活用する音楽づくり

(P. 34～P. 35)

【準備等】デジタル教科書

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 自然や動物、物が発する音や、様子を表す言葉を理解し例示のテーマと言葉で表現する。</p> <p>★テーマを表現してみよう。</p> <p>○自然や動物、物が発する音や、様子を表す言葉を理解する。</p> <p>○例示のテーマと言葉で表現する。</p> <p>2 グループでストーリーを検討し、構成や全体のまとまりを考えて音楽をつくる。</p> <p>★グループで音楽をつくろう。</p> <p>○グループでテーマを検討し、擬音語や擬声語などの候補を決める。</p> <p>○グループでストーリーを検討し、構成や全体のまとまりを考えて音楽をつくる。</p> <p>○グループでつくった音楽を発表する。</p>	<p>・教科書の例を参照し、知っている擬音語・擬声語などを発表させる。</p> <p>・ア～エの分担を決めて、例示されたストーリーを表現させる。</p> <p>分担を変えて表現させたり、構成や全体のまとまりを検討し直したりさせながら、表現を工夫させる。</p> <p>・デジタル教科書を活用して、例示を学級全体で参照しながら、反復や重なり方を検討させる。</p> <p>【評】グループごとに例示されたテーマやストーリーに沿った表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】主体的・協働的に音楽をつくる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】言葉のリズムや反復や重なり方などを工夫し、擬音語・擬声語を選択して作った音楽を発表する活動を通して、「技能」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

本単元では、擬音語・擬声語などを使って簡単なストーリーを表現する。ストーリーと関連する四つの擬音語・擬声語を選び、それらを重ねたり反復させたりして表現を工夫する。さらに、担当するア～エの擬音語・擬声語を表現する際に、声の音色やリズム、速さや強弱などを工夫し、他の担当との関わりを感じ取りながら表現することも考えられる。

【共通事項】音色・リズム・テクスチャ・構成